

言語の心理学

藤木 大介
(広島大学)

※不定期に更新予定です。定年退職の頃を目処に執筆しております。

※自身の講義資料としての利用を想定しています。著作権は放棄しておりません。

第1章 コミュニケーションの発達

マザーリーズ

喃語

第2章 言語の獲得

第1節 行動主義による説明

第2節 生得説による説明

第3節 経験説による説明

第3章 読み書きの発達

第1節 文字の読み書きの発達

藤木(2010)を参照。

第2節 文章の読み書き発達

藤木(2010)を参照。

第3節 読み書きと自己

参考文献

[藤木大介 \(2010\). 読み書きの発達 栗山和広\(編著\) 子どもはどう考えるか：認知心理学から見た子どもの思考 おうふう pp.63-82.](#)

第4章 心的辞書と語の認識

第5章 句や文の理解

文の理解は、語の持つ統語的情報と意味的情報とを用いた情報処理である。

第1節 統語解析

語の持つ範疇素性(品詞に関する情報)に基づき、統語構造を構築していく処理を統語解析という。

第2節 意味表象の形成

言語の意味は構成概念である。

参考文献

[藤木大介 \(2012\). 文の意味表象の形成過程 深田博己\(監修\) 心理学研究の新世紀 宮谷真人・中條和光\(編著\) 第1巻 認知・学習心理学 ミネルヴァ書房 pp.456-469.](#)

引用文献

[藤木 大介・中條 和光 \(2005\). 概念結合過程としての文のオンライン意味処理：形容詞－名詞句の典型性が文理解過程に及ぼす効果 認知心理学研究, 2\(1\), 9-23.](#)

第6章 句や文の産出

第7章 文章の理解

第8章 文章の産出

第9章 語用論

第10章 言語と思考